

県立図書館だより

令和6年10月

青森県立図書館報 第50号

デジタルアーカイブから



『高照神社拝殿』（年代不明）

(https://da.plib.pref.aomori.lg.jp/archives/detail?cls=collect_01&pkey=t0157_06)

弘前市高岡に現存する高照神社の拝殿を収めた写真。

高照神社は、弘前藩中興の英主と称えられる4代藩主津軽信政を祀る神社。同神社には、信政の遺品や旧士族から奉納された多くの宝物が納められていた。現在は平成30年に開館した「高岡の森弘前藩歴史館」で、現代に残された貴重な宝物を見ることができる。

目	次
デジタルアーカイブから	1
こどものひろば	2
ご存じですか？この人・この資料～郷土資料の紹介～	3
ようこそ文学館へ！近代文学館資料の紹介	4
一般室みみより情報	5
令和6年度北日本図書館大会を開催しました	6
青森県立図書館利用に関するアンケート実施中です！	7

こどものひろば



今回の「こどものひろば」では、児童閲覧室の展示についてご紹介します。

児童閲覧室では、毎月違うテーマに沿って本を紹介する、「テーマ展示」を行っています。

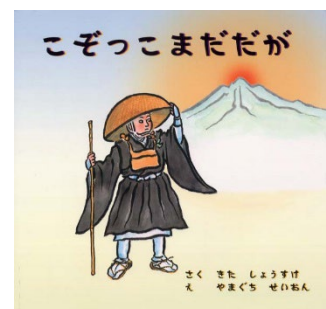
10月25日から11月27日までのテーマ展示では、「おばけ」をテーマに、おばけが登場する本やおばけに関連する本の展示をします。そこで今号では、「おばけ」に関連して、恐ろしい鬼ばばが登場する青森県出身の方の作品をご紹介します。

『こぞっこまだだが』

きたしょうすけ／さく やまぐちせいおん／え 新世研 2001

和尚さまに修行の旅に出されたずるすけの小僧。旅の途中で一晩泊まることになった家の綺麗な娘の正体は、彼を食べようと企てる鬼ばばでした。果たして、小僧は無事に鬼ばばから逃げることができるのでしょうか…。

東北地方に古くから伝わる民話を絵本にした、大人も子どもも楽しめる作品です。



過去のテーマ展示の様子は、ホームページでご覧いただけます。

(<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/kids/exhibition/>)

また、児童閲覧室では、同じく月毎に異なるテーマで「ミニ展示」も行っています。この期間には、「おしゃれだいすき」「おかしおかし」をテーマに、本の展示をします。ぜひ、こちらもお楽しみください。

秋の読書週間

10月27日から11月9日までは**読書週間**です。

図書館でお気に入りの1冊を見つけて、素敵な「読書の秋」を過ごしませんか？

● **読書週間**については、公益社団法人読書推進運動協議会をご参照ください。

(<http://www.dokusyo.or.jp/>)

10月のおしえて先生！知るしるする探検隊

日 時 10月26日（土）14:00～14:30

場 所 青森県立図書館1階児童閲覧室 ※事前申込不要

テーマ りんご博士になろう！

隊 長 県農林水産部 りんご果樹課

内 容 りんごの秘密や、りんごができるまでのお話をしてくれます。

これまでの探検の様子は、青森県立図書館ホームページで見ることができます。

(<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/kids/fun/teacher/>)





青森県立図書館では、内容が青森県に関する資料について、図書資料の他に地図資料も収集しています。

ゼンリン住宅地図やブルーマップのように冊子状のものは図書資料扱いであるのに対し、地図資料は1枚ものでほとんどA2サイズ以上の大きさです。中には江戸～大正時代に発行された貴重な地図もあり、貴重資料扱いで保管されています。

今回は地図資料をご紹介します。

地形図、土地利用図（1/25,000）

地形図は、民間の地図や教科書などのいろんな地図の基本になっている国土地理院の基本図です。

土地利用図は、土地利用状態を現地調査や空中写真、資料などによって調べ、地図に色分けして表したものです。都市の商業や工業などの機能区分、農地、林地などの植生区分などが表示されています。

どちらも青森県内全域が約140区画に分割されていて、詳細に見ることができます。

土地条件図、沿岸海域地形図・沿岸海域土地条件図（1/25,000）

土地条件図は、日本全国の主な平野とその周辺について、土地の細かい高低、地形分類など自然の基本的な状態を表した地図です。

沿岸海域地形図は、湖底の地形や堆積物、水中植物、湖沼関連施設などを示した地図です。沿岸海域土地条件図は、海底について、音波探査などによる調査結果を分析し、浸食や堆積の状況、傾斜などの分類、水深、海底の性質、などを表示した地図です。

いずれも発行されている地域は、青森湾付近と平舘海峡のみです。

湖沼図（1/10,000）

湖底の地形や堆積物、水中植物、湖沼関連施設などを示した地図です。県内のもので発行されているのは十和田湖、十三湖、内沼、小川原湖、姉沼です。

火山基本図（1/10,000）

現在活動中の火山や将来活動が予想される火山など、日本の主な火山を対象にして作成されています。精密な地形、地表面の温度分布などを表しています。本県の火山基本図は岩木山のみ発行されています。

出典：国土地理院ウェブサイト（QRコードを読み取る、またはクリックするとリンク先へ移動します。）



今回ご紹介した地図資料は、館内閲覧のみです。閲覧希望の方は、カウンターの職員にお問い合わせください。また、貴重資料扱いとなっている古地図等は、一部をデジタル化しており、[デジタルアーカイブ](#)でもご覧いただけますので、どうぞご利用ください。

ようこそ文学館へ！

近代文学館資料の紹介(第49回)

寄贈資料から

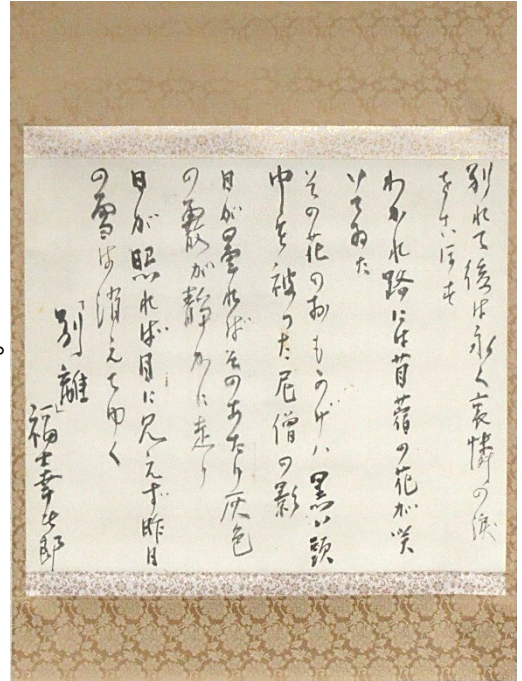
近代文学館では、青森県の文学に関する資料を広く収集しており、「資料収集方針」に基づいて資料の寄贈も受け付けています。今回は近年寄贈を受けた資料の中から、福士幸次郎の書幅と、寺山修司らによるサイン帳（野脇中学校卒業時のもの）をご紹介します。

①福士幸次郎書幅「別離」

弘前市出身の詩人・福士幸次郎は、口語自由詩の先駆者として活躍し、大正3年に刊行した第1詩集『太陽の子』は日本の詩壇に大きな影響を与えました。この「別離」と題された詩は、第2詩集『展望』に「哀憐」という題で収録されている詩とほぼ同じ内容のものです。

詩人たちに影響を与えた幸次郎は、郷土の後進も数多く育てています。東奥義塾で教員を務めた頃の教え子の中には、後に青森県人初の直木賞作家となる今官一がいました。官一は学校の文学仲間と共に幸次郎を訪ね、その助言を受けて「わらはどの会」を立ち上げ、雑誌「わらはど」を創刊することになります。この訪問の際に幸次郎が暗誦した「哀憐」に大きな感銘を受けたと官一は述懐しています。

東京都在住の方が、父親の遺品を整理している際にこの書幅を見つけたことをきっかけに当館へご相談くださり、寄贈していただくことになりました。



②寺山修司らによるサイン帳（野脇中学校卒業時のもの）

終戦後、父を失い母と共に三沢市で暮らしていた寺山修司は、母が福岡県へ働きに出るため、青森市にいる母方の叔父夫婦の家に引き取られました。その際、三沢市の古間木中学校から青森市の野脇中学校へ転校し、青森高校を卒業するまでの約5年間で青森市で過ごしました。

寺山は野脇中学校で、後に俳人となる京武久美と出会い、共に詩・俳句・短歌などを文芸部雑誌や校内の新聞等に掲載しました。卒業後、2人は青森高校に入学し、そこでも文学部をはじめとした様々な場で文芸活動を展開していきます。

特に俳句については、山彦俳句会の結成や校内俳句大会の主催、全国学生俳句会議の結成や俳句雑誌「牧羊神」の刊行など、非常に精力的に活動しました。

このサイン帳は、寺山・京武と中学・高校時代の同級生であった青森市在住の方が、野脇中学校卒業時にクラスメイトにメッセージを書いてもらったもので、当時の寺山や京武のメッセージも書かれています。この他にも、卒業アルバムや学級文芸雑誌、生徒会誌や写真など、同級生でなければ手に入らない貴重な資料を寄贈していただきました。



京武のメッセージ

寺山のメッセージ

一般室みみより情報 (第2回)



今回は、一般閲覧室に設置している「複写機の利用」についてご案内します。

ご利用になる前に……

- 1** 図書館では著作権法第31条により、図書館が所蔵する資料以外の複写は許可されていません。

✕ 私物の書籍やノート類の複写にはご利用いただけません。

- 2** 同じページの複写は一人一枚のみ可能です。

POINT ミスコピーは回収させていただき、枚数に応じた金額を返金いたします。

- 3** 複写できない資料や、制限のある資料があります。

※ 著作権などご不明な点は、カウンター職員へご確認ください。

POINT ゼンリンの住宅地図の複写は、「見開きの半分以上を超えない範囲まで」の制限があります。

利用方法について……

- 1** ご利用の前に必ずお申込み手続きをお願いします。

- (1) 複写を希望される旨を、カウンター職員へお伝えください。

- (2) 「資料複写申込書」を記入してください。

申込書には種類があります。

※ 今回は一例として、複写機を利用した「モノクロコピー」および「カラーコピー」の申込書を掲載しています。

- (3) 複写が終了しましたら、カウンター職員へお声がけください。

以下については、必ずお知らせください。

- ① ミスコピーの有無
② 領収書が必要な場合

- 2** ご利用料金については以下のとおりです。

※ 複写機をご利用いただく他に、マイクロフィルムや各種データベースの閲覧・複写も可能です。閲覧・複写をご希望の方は職員へお声がけください。

コピー(白黒)	10	マイクロフィルム(白黒のみ)	40
コピー(カラー)	50	NDL デジタル資料(白黒)	10
デジタル資料データベース(白黒)	10	NDL デジタル資料(カラー)	50
デジタル資料データベース(カラー)	50	※ 全て1枚当たり／円の金額で表示しています。	

令和6年度 第75回北日本図書館大会 青森大会を開催しました

令和6年6月20日～21日、東奥日報新町ビル「New's」ホールにおいて、北日本図書館連盟、青森県教育委員会、青森県図書館連絡協議会の主催により、北日本図書館大会が6年ぶりに本県で開催されました。

本大会は『地域に貢献する図書館』をテーマに、今日的課題について研究協議を行い、共通理解を深め、社会の要請に応え、地域に貢献する図書館活動の充実と発展に寄与することを目的に開催し、参加及びオンラインの併用により、県内外から207人（延べ308人）の方々にご参加いただきました。



みんなの森ぎふメディアコスモスの総合プロデューサーを務めた吉成信夫氏が「図書館は屋根の付いた公園 ～楽しみながらひとと地域をつないでいこう～」と題して基調講演を行い、「図書館は市民と創る、市民が創る空間である」、「図書館は子どもたちを育む空間である」、「本がひととまちをつないでいく」という視点で実践してきたさまざまな取組事例をもとに、**図書館は本を貸すだけではなく、知識や知恵と人、人**

と人、地域と人など、いろんな関係を繋ぐ潜在的な力があるのではないかということをお話いただきました。

その後、むつ市立図書館、八戸市立図書館、黒石市立図書館及び宮城県大崎市図書館から事例報告があり、2日目のシンポジウムでは八戸ブックセンターと会場及びオンライン参加者も加わり、「地域に貢献する図書館」をテーマに意見交換が行われました。

今後も各図書館でのさまざまな取組を積み重ね、それらを共有し、連携を深め、地域に貢献する図書館を目指そうという方向性が示され、参加者の絆が深まった有意義な大会となりました。



青森県立図書館利用に関する アンケート実施中です！

青森県立図書館では、利用者の皆様の利用状況やご意見をお伺いし、今後の図書館サービスの向上に役立てるため、利用者アンケートを実施しています。

令和6年7月26日（金）から実施しており、すでに600名の皆様から貴重なご意見をいただいております。ご回答くださいました皆様、本アンケートへのご協力ありがとうございます。

このアンケートは年度末まで受け付けております。利用サービスの満足度や図書館・近代文学館にあったらいいなと思うサービスなど、皆様からのお声をお待ちしております。

回答方法は、館内に設置しているアンケート用紙、または、青森県立図書館ホームページや青森県電子申請システムでも受け付けております。ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

青森県立図書館ホームページ
アンケートフォームURL
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/post-7.html>



館内のアンケート用紙及び回収箱設置場所は
こちらです。

- 1階エントランスホール ○1階一般閲覧室
- 2階近代文学館 ○2階休憩室

青森県立図書館・青森県近代文学館

● 住 所 〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7

● 電話番号

◆ 一般閲覧室 : 017-729-4300

※貸出・返却・延長・予約のご連絡などはこちらへ。

◆ 参考・郷土室 : 017-729-4311

※レファレンスや児童サービスについてのご連絡はこちらへ。

◆ 音声案内 : 017-729-4111

◆ 図書館代表電話 : 017-739-4211

◆ 図書館代表FAX : 017-739-8353

◆ 近代文学館 : 017-739-2575

● ホームページ

[https://www.plib.pref.](https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/)

[aomori.lg.jp/](https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/)



図書館だより 第50号

令和6年10月25日発行

編集・発行 青森県立図書館